

悩まなくてもだいじょうぶ



知っておきたい アレルギーの話

NPO法人アレルギーを考える母の会
代表 園部まり子



第11回

先生たちも勉強中！

❁「母の会」が、専門医が学校に 出向く研修を「橋渡し」

子どもたちは夏休み真っ最中ですが、学校の先生たちは今が「猛勉強」の季節です。この時期、さまざまな課題への対応力をアップさせる研修が集中的に行なわれているのです。その中で「母の会」も、小児アレルギーの専門医に学校まで出向いてもらい、学校での取り組みを促す研修の「橋渡し」を行なっています。背景には、2008年春、全国の小中学校に「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」(監修：文部科学省、発行：日本学校保健会)を配布するなど、アレルギーの子どもたちも安心して学校生活を送れるようにしたいという国の取

り組みがあります。

「ガイドライン」が配布されたことは、アレルギーの子や保護者にとって大変に嬉しいことなのですが、実際に取り組む学校の先生には戸惑いもあります。中でも、食物アレルギーで重篤な症状に陥った時に使うペン型のアドレナリン自己注射薬(製品名「エピペン」)を、症状が進み本人が打てないような緊急時には、学校の教職員も打つことができたことに、先生方の一部は困惑しているようです。

そこで重篤なアレルギー児が在籍する学校まで専門医に出向いてもらい、教職員全員にアレルギーの病態や「エピペン」の使い方の研修を行なうことで、「いざという時に落ち着いて対応する心構えができた」な



そのべ・まりこ ●神奈川県社会福祉協議会セルフヘルプ支援事業運営委員。困っている患者と専門医との橋渡しを第一に「治療ガイドライン」情報などの提供、専門医による講演会や会報発行、行政への働きかけを行なっている。共著に『食物アレルギーのてびき 改訂第2版』(南江堂刊)。

「母の会」講演会のお知らせ

正しく知ろう！ 子どものアトピー 食物アレルギー

日時：2010年9月12日(日)13時開会
会場：はまぎんホールヴィアマール
(横浜市西区みなとみらい)

参加費：500円(実費)
講師など詳細および申し込み用紙は
(財)日本アレルギー協会のホームページからダウンロードできます。

ごと、皆さん協力して積極的に取り組んでいただけるようになるのです。今年の夏は12、13校での研修を「橋渡し」する予定ですが、専門医が実際に学校まで出向いていただくことには限りがあります。「母の会」は試みとしてこうした研修を実施していますが、アレルギーの子を支えるために、たくさんの方で取り組まれることを期待しています。